

2けたの数に1けたの数をかける計算 (2けた×1けたのかけ算)

2けたの数に1けたの数をかける計算

前は、 10×3 のような、「何十のかけ算」を勉強したよね。
でもふだん生活していると、「20」や「30」のようなキリのよい数字ばかりではなく、「13」だったり、「31」のような数字も使われているよね。

そこで今回は、 13×3 のような、2けた×1けたのかけ算のもとめ方を考えてみよう。

2けたの数に1けたの数をかける計算①

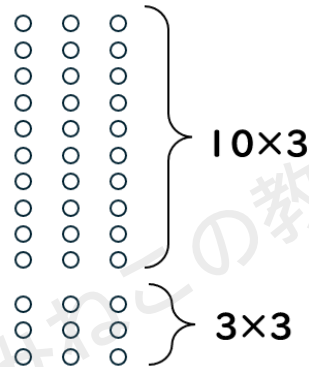
1こ13円のアメを3こ買いました。代金はいくらですか。

代金をもとめるには、「 13×3 」を計算したらいいね。
この式をどうやって計算したらいいかを考えてみよう。



2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図で考える）①

「 13×3 」というのは、13のかたまりが3つあるということだけど、13を「10」と「3」にわけて考えると、つぎのようになるよ。



10のかたまりが3つ、
3のかたまりが3つあると考えることができるね。

○がいくつあるか数えてみよう。

10のかたまりが3つだから、 $10 \times 3 = 30$

3のかたまりが3つだから、 $3 \times 3 = 9$

ぜんぶ合わせると39だね。

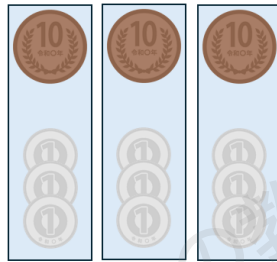
つまり、「 $13 \times 3 = 39$ 」ともとめることができるね。

答え：39円



2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図で考える）②

1こ13円のアメを買ったときの代金を図にあらわしてみると、つぎのようになるね。



「10円」が3セットだから、 $10 \times 3 = 30$ 円
 「3円」が3セットだから、 $3 \times 3 = 9$ 円
 あわせて $30 + 9 = 39$ 円とまとめることができるね。

2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図を使わずに考える）

今度は、図を使わずにもとめるやり方に ちょうせんしてみよう。

「 13×3 」の「13」を「10」と「3」にわけてみよう。

わけた「10」と「3」それぞれに、かける数の「3」をかけて、もとの数をまた あわせればいいね。

$$\begin{array}{r}
 13 \times 3 = \\
 \swarrow \quad \searrow \\
 10 \quad 3 \\
 \\
 10 \times 3 = 30 \\
 3 \times 3 = 9 \\
 \hline
 \text{あわせて} 39
 \end{array}$$



$$10 \times 3 = 30$$

$$3 \times 3 = 9$$

あわせると、39になるね。

なので、「 $13 \times 3 = 39$ 」ともとめることができるよ。

3つの考え方は、ぜんぶ13を10と3にわけて、それぞれ「 10×3 」と「 3×3 」と計算しているんだね。

13×3 のような、2けた \times 1けたのかけ算は、位ごとにわけて計算したらよさそうだね。



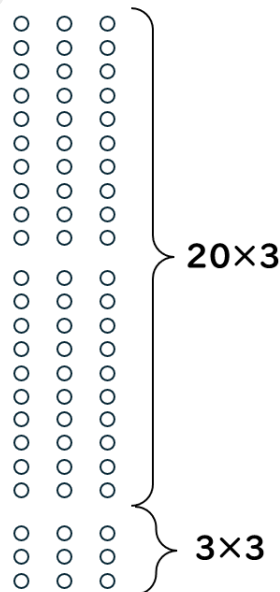
2けたの数に1けたの数をかける計算②

1こ23円のアメを3こ買いました。代金はいくらですか。

代金をもとめるには、「 23×3 」を計算したらいいね。

2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図で考える）①

「 23×3 」のかけられる数の23を「20」と「3」にわけて考えると、つぎのようになるよ。



20のかたまりが3つ、
3のかたまりが3つあると考えることができるね。

○の数をかぞえてみよう。

20のかたまりが3つだから、 $20 \times 3 = 60$

3のかたまりが3つだから、 $3 \times 3 = 9$



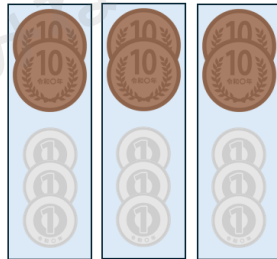
ぜんぶ合わせると69になるね。

つまり、「 $23 \times 3 = 69$ 」ともとめることができるね。

答え：69円

2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図で考える）②

1こ23円のアメを買ったときの代金を図にあらわしてみると、つぎのようになるね。



「20円」が3セットだから、 $20 \times 3 = 60$ 円

「3円」が3セットだから、 $3 \times 3 = 9$ 円

あわせて $60 + 9 = 69$ 円ともとめることができるね。

2けたの数に1けたの数をかける計算考え方（図を使わずに考える）

今度は、図を使わずにもとめるやり方に ちょうせんしてみよう。

「 23×3 」の「23」を「20」と「3」にわけてみよう。



わけた「20」と「3」それぞれに、かける数の「3」をかけて、もとの数をまた あわせればいいね。

$$\begin{array}{r} 23 \times 3 = \\ \swarrow \quad \searrow \\ 20 \quad 3 \\ \\ 20 \times 3 = 60 \\ \underline{3 \times 3 = 9} \\ \text{あわせて} 69 \end{array}$$

$$20 \times 3 = 60$$

$$3 \times 3 = 9$$

あわせると、69になるね。

なので、「 $23 \times 3 = 69$ 」ともとめることができるよ。

やっぱり、 23×3 のような、2けた×1けたのかけ算は、位ごとにわけて計算したらいいね。



「2けたの数に1けたの数をかける計算」まとめ

「 13×3 」や「 23×3 」のような「2けた \times 1けたの計算」でも、2年生で勉強した九九がわかっているだけでかんたんだね。
ただ2けたの数を位ごとにわけて、それぞれかけ算すればいいんだね。

「2けたの数に1けたの数をかける計算」まとめ

- ・ 2けたの数を位ごとにわけて、それぞれかけ算した答えをあわせればよい。

例： 13×3

13 を 10 と 3 にわけて、それぞれに 3 をかける。

$$\begin{array}{r} 13 \times 3 < \begin{array}{l} 10 \times 3 = 30 \\ 3 \times 3 = 9 \end{array} \\ \hline \text{あわせて} 39 \end{array}$$

例： 23×3

23 を 20 と 3 にわけて、それぞれに 3 をかける。

$$\begin{array}{r} 23 \times 3 < \begin{array}{l} 20 \times 3 = 60 \\ 3 \times 3 = 9 \end{array} \\ \hline \text{あわせて} 69 \end{array}$$

